

株式会社ふるさと鹿野 経営状況報告書

1. 法人概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 名 称 | 株式会社ふるさと鹿野 |
| (2) 目 的 | 行政とともに推進していく第三セクターの民間組織として、温泉宿泊施設、特産品の製造、販売や飲食サービスの提供といった収益性の事業と、まちづくりや体験交流といった公益性の高い事業の取組による連関効果を図り、公民連携の企業経営を展開して、鹿野地域の活性化、雇用創出等の役割を担う拠点機能をめざしている。 |
| (3) 設立許可年月日 | 平成16年 8月17日 |
| (4) 設立登記年月日 | 平成16年10月 5日 |
| (5) 資 本 金 | 金35,000,000円（うち鳥取市17,550,000円） |
| (6) 役 員 構 成 | 取締役7名 監査役2名
代表取締役社長 長尾 裕昭 |
| (7) 事務所所在地 | 鳥取市鹿野町今市972番地1 |

2. 令和6年度事業実施状況

核となる施設山紫苑は、宿泊休憩の利用者は前年度を上回ったものの目標には届かなかった。売上も前年度を7,460千円上回ったが、それに伴う経費も増加し収支は多少改善されたものの▲11,397千円となった。年間を通し調理師不足の影響が大きく課題の一つとなっており、早期解決が必要な状況となっている。

温泉館は、元旦に発生した物損事故による修繕のため、2週間休業することとなったが、低料金とサウナ人気で利用者は増加傾向にあり最終利益を確保することができた。

そば道場は薬味のワサビを鹿野に所縁のある生姜にかえ、新商品として「鹿野菅笠そば」を開発し、マスメディアにも取り上げられ話題を提供した。利用者の食事利用は前年度より増加したが体験はスタッフ不足による制限もあり減少してしまった。売り上げは値上げや「鳥取ねりんピック」への手土産提供などにより増加し、今年度も黒字を計上することができた。

一方、おもしろ市場は今年度7月、直販からふるさと鹿野主導による買取り方式に変更したが、出荷者の高齢化により思うほど野菜類が集まらず商品不足に陥り、前年度より赤字は大幅に増加してしまった。そば処も労働力不足によって、通常営業が出来なかったこともあり、昨年に引き続き赤字計上となった。

加工所部門はとち餅など餅類を限定して製造し、製造委託している鹿野そばやそばつゆとともに販売していったが、年末にそばの売り上げを見越して大量に仕入れたが在庫で残ってしまい低価格で販売したことや、そば茶開発のための経費がかさみ赤字を計上する結果となった。

切花部門は仕入れ価格の上昇と需要の減少により普段の月はマイナスになっているが、需要の多い彼岸、盆、正月の利益で最終利益を確保することができた。

農業部門は米価の高騰により野菜類の売り上げ減少分以上の収入となり、国からの交付金は支給基準の見直しの話もあったが、最終的に計画通りの支給があり収支は前年度より大幅に増

加した。

交流館は4回目となる「昭和レトロ展」や「西いなばサイクル DAY」、「城下町マルシェ」など地域と密着したイベントを開催し大盛況のうちに終え、地域への来訪者拡大の効果をもたらした。

全体として、赤字部門の山紫苑やおもしろ市場を農業部門やそば道場が支え、前年度の赤字を 3,859 千円改善したが最終損益は、5,332 千円の赤字を計上する結果となった。

3. 令和6年度決算書

(1) 貸借対照表 (令和7年3月31日) 現在

(単位:円)

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額	科目	金額
1 流動資産	75,667,429	3 流動負債	34,016,786
(1) 現金	1,954,690	(1) 買掛金	16,439,379
(2) 預貯金	38,443,713	(2) 未払い費用	12,434,398
(3) 未収金	19,153,918	(3) 預り金	457,709
(4) 棚卸資産	16,092,708	(4) 納税充当金等	232,500
(5) 前払費用	0	(5) 前受金	0
(6) 仮払金	22,400	(6) 仮受金	0
(7) 立替金	0	(7) 未払消費税	4,452,800
		(8) 短期借入金	0
		4 固定負債	123,530,000
		(1) 長期借入金	123,530,000
2 固定資産	23,686,698	負債合計	157,546,786
(1) 有形固定資産	22,286,698		
(2) 無形固定資産	0	5 資本の部	△ 58,192,659
(3) 投資その他資産	1,400,000	(1) 資本金	35,000,000
		(2) 自己株式	△ 2,000,000
		(3) 別途積立金	49,000,000
		(4) 当期末処理欠損金	140,192,659
資産合計	99,354,127	負債資本合計	99,354,127

(2) 損益計算書 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I 営業損益の部		Ⅲ特別損益の部	0
1営業収入	389,452,501	1特別利益	0
2売上原価	105,697,597	2特別損失	0
3売上総利益	283,754,904	(1)その他特別損失	0
4販売費及び一般管理費	288,149,780	(2)固定資産除却損	0
(1)人件費	150,112,294		
		Ⅳ税引前当期利益	△ 5,099,522
(2)事業費	130,036,621		
		Ⅴ法人税及び住民税	232,500
(3)諸税負担金	1,040,720		
		Ⅵ税引後当期利益金	△ 5,332,022
(4)雑費	6,960,145		
		Ⅶ前期繰越欠損金	134,860,637
(5)施設使用負担金	0		
		Ⅷ当期末処理欠損金	140,192,659
5営業利益	△ 4,394,876		
Ⅱ営業外損益の部			
1営業外収益	770,000		
(1)受取利息	30,545		
(2)雑収入	739,455		
(3)受託料	0		
(4)貸倒引当金戻入	0		
2営業外費用	1,474,646		
(1)支払利息	1,437,287		
(2)雑損失	37,359		
3経常利益	△ 5,099,522		

(3) 財産目録

(1) 貸借対照表の資産の部および負債の部と同一につき省略

(4) 剰余金計算書

前期繰越欠損金	134,860,637 円
---------	---------------

当期利益金	△ 5,332,022 円
-------	---------------

当期末処理欠損金	140,192,659 円
----------	---------------

(5) 剰余金処分計算書

別途積立金	49,000,000 円
-------	--------------

次期繰越欠損金	91,192,659 円
---------	--------------

4. 令和7年度計画

核となる施設の山紫苑は、ここ数年長引くコロナの影響や人員の問題などから対外的な営業が難しい状況にあったが、近年弱かった合宿や休憩客の取り込みに向け営業活動の強化を図る。また、引き続き近隣施設やNPOなどとの連携を図り、鹿野の魅力アップと地域づくりに貢献できるよう努める。温泉館ホットピア鹿野は、他施設との差別化としてサウナが大きな魅力の一つで多くの方に利用していただいているが、諸物価高騰や今後の修繕などを視野に持続的な維持管理と安定した利益確保のため4月より入浴料金を改定した。これにより安定経営を図り、更なる顧客満足度アップと衛生管理に努める。そば道場、そば処は鹿野そばの評判も良くブランド力も付いてきており、そば道場は更なる安定経営を、そば処はSNS発信などを充実し新規顧客を含め集客アップを図り黒字化を目指す。おもしろ市場は前期の赤字拡大の結果を踏まえ、今期は施設の運営方法について、本来の設置目的である農業振興に寄与する施設としての役割を再考し、鳥取市とも協議しながら打開策を講じる。加工所は収益率の高いそばの乾麺と、好評なとち餅を中心に餅類を製造し販売していくことで赤字を解消する。切花は仕入価格が上昇する中、需要は減少傾向にあり、利益確保のため平月は赤字を極力抑え、需要の多い盆や彼岸、正月の利益拡大により最終利益を確保して行く。農業は水稻の栽培計画の改善、栽培技術の向上に努めるとともに、必要資材等の価格が高騰傾向にある中、必要資材を見極めつつ反収の向上・安定化を図る。そば栽培は作業計画を見直し収量を増加させられるよう努める。更に、農機具の老朽化に対し、中長期的な更新計画を組んで行く。鹿野往来交流館「童里夢」は、四季折々地域に根差した各種イベントの開催や地域の魅力を広く発信し、社内外との連携を密に、鹿野への入込客の増加と満足度向上に取り組んで行く。以上、全社挙げて山紫苑をはじめとした赤字部門の解消に取り組み安定経営を目指す。

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
I 営業損益の部		Ⅲ特別損益の部	0
1営業収入	418,354,000	1特別利益	0
2売上原価	114,156,000	1特別損失	0
3売上総利益	304,198,000		
4販売費及び一般管理費	297,767,000	Ⅳ税引前当期利益	5,488,000
(1)人件費	159,955,000	Ⅴ法人税及び住民税	232,500
(2)事業費	130,646,000	Ⅵ税引後当期利益金	5,255,500
(4)諸税負担金	1,058,000	Ⅶ前期繰越欠損金	140,192,659
(5)雑費	6,108,000	Ⅷ当期未処理欠損金	134,937,159
(6)施設使用負担金	0		
5営業利益	6,431,000		
Ⅱ営業外損益の部			
1営業外収益	576,000		
(1)受取利息	0		
(2)雑収入	576,000		
(3)貸倒引当金戻入	0		
2営業外費用	1,519,000		
(1)雑損失	0		
(2)支払利息	1,519,000		
3経常利益	5,488,000		